

馬券場の誘致で「環境整備費」や「多額の交付」は本当か？

日本中央競馬会『なんの約束もしていない！』

田島議員が「交付金などの約束」を連発！

昨年12月11日の市議会で田島茂洋議員（公政会）は馬券場を誘致すれば「歳入面での利益と言いますか、本市にとります有利な面というものも非常に多くあるということもわかつております」と断定的な発言をしました。

さらに田島議員は12月15日の産業建設常任委員会で「交付金、環境整備費の交付があり彦根市に貢献できること、彦根城築城四百年祭事業への支援が得られること、これについては市長が御同意されれば多額の交付をしますと私共に約束いただいています。地元地域の公共施設等の整備充実が図られること、道

一体だれと約束したのでしょいか？

「日本中央競馬会の馬券場に伴う交付金は誰が払うのか」

勿論、日本中央競馬会が馬券の売上金の一部から支払うものです。

従って、環境整備費の金額や支援事業の内容などを決定するのは日本中央競馬会で、それ以外にはありません。

そこで1月25日、日本中央競馬会に「彦根市の馬券場について環境整備費や彦根城築城四百年祭事業への支援、さらに国道三〇六号

路整備事業、特に国道三〇六号のバイパス設置については応分の負担をさせていただき促進されること等々についてはお約束いただいています。」等と「約束」を強調しました。

また、新聞折り込みチラシにも「彦根ウインズ設置のメリット」として「交付金、環境整備費の交付があり、彦根市の財政に貢献出来ること。築城四百年祭事業への支援が得られること」等と、断定的に記載されています。

「馬券場を誘致すれば、多額の交付金が約束されている」というのは本当に実現される話なのでしょうか。

バイパス設置についての負担などを約束しているのか」どうかを訊いてみました。

これに対し、日本中央競馬会ウインズ事業推進部ウインズ企画開発室は「彦根の誘致話は一切ない。なんの約束もしていない」と「約束」を完全に否定しました。

では誰の約束をいただいたのでしょうか。

JRAが否定しているのに「多額の交付金や国道バイパスの負担を約束していただいた」と言われても、信用してよいものでしょうか。

ウインズ誘致話にはご注意を！

日本中央競馬会はホームページの中で「ウインズ誘致話にはご注意を！」と題してウインズ誘致を口実にした詐欺まがいの事例が多発しているとして注意を呼びかけています。

それによると、ウインズ誘致を口実として、コンサルティング業者、デベロッパー業者を名乗る者が出資を募るなどの悪質な詐欺まがいの事例が生じており、JRAには問い合わせが多数寄せられているそうです。

こうした話に共通している点は「①JRAに対して影響力があるかのように思われる人物の関与を匂わせる。②その人物とJRAの上層部との間で約束が出来ているようなことを吹聴する。③ウインズ誘致話の真偽については直接

JRAには問い合わせることをさせないように誘導する」というものだそうです。

またJRAのウインズ新設については「①JRAが自ら所有し、②商圈性の高い地域において、③適正な規模であること」を基本方針として、市場性、効率性、採算性が十分に期待できるものに限り慎重な姿勢で取り組むことにしているそうです。

そして、ウインズ誘致・新設の問い合わせには窓口を設けて悪質な事例の防止に取り組んでいるとしています。

ウインズ誘致・新設に関する問合せ先は次の通りです。

JRA ウインズ事業推進部
ウインズ企画開発室
担当：宇都宮、伊藤
TEL 03-3591-5251